【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公開番号】特開2005-162487(P2005-162487A)
【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)
【年通号数】公開・登録公報2005-024
【出願番号】特願2004-334885(P2004-334885)
【国際特許分類】
　Ｂ６５Ｈ　19/18　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｂ６５Ｈ　19/18　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月16日(2007.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　可撓性の帯状材料を結合するための接合機であって、
　前記帯状材料の第１巻取りを取り外しできるように回転自在に支持する第１の巻取り支持体と、
　前記帯状材料の第２巻取りを取り外しできるように回転自在に支持する第２の巻取り支持体と、
前記第１巻取りの前記帯状材料の先導部又は後続部に係合し保持する第１の帯材固定部材と、
　前記第２巻取りの前記帯状材料の先導部又は後続部に係合し保持する第２の帯材固定部材と、
　各後続部に係合し保持すると共に、各後続部をそのそれぞれの固定部材から他方の固定部材へ移動させて、他方の巻取りの先導部への各後続部の付着に備える、帯材搬送部材と、
を含む接合機。
【請求項２】
　各固定部材は、前記帯状材料を接触状態に強制して該帯状材料の先導部及び後続部がそこに固定されるように、減少空気圧力が作用する開口を含んでいる、請求項１に記載の接合機。
【請求項３】
　前記搬送部材は、前記第１の帯材固定部材の近くにある第１位置と前記第２の帯材固定部材の近くの第２位置との間で往復動される、請求項１又は２に記載の接合機。
【請求項４】
　前記搬送部材は、そこに前記帯状材料を接触状態に強制し、それにより前記帯状材料が保持されるように減少空気圧力を有する開口を含んでいる、請求項１～３のいずれか１項に記載の接合機。
【請求項５】
　前記搬送部材は、アームを含み、前記開口を有するプレートが懸架されており、該プレートは、前記先導部及び後続部をつかまえ、解放する該プレートの運動を生じさせるモータに取り付けられている、請求項１～４のいずれか１項に記載の接合機。

【請求項６】
請求項２～５のいずれか１項に記載の接合機、前記第１巻取り及び前記第２巻取りの組合せにおいて、前記第１巻取りの前記帯状材料は長手方向の印刷面を有しており、前記第２巻取りの前記帯状材料もまた長手方向の印刷面を有しており、前記第１巻取りからの材料は、その前記印刷面が所定の向きを有する状態で前記第１の固定部材に給送され、前記第２巻取りからの前記材料は、前記先導端部が前記後続端部に付着されるときに前記印刷面の向きが維持されるように、その前記印刷面もまた前記所定の向きを有する状態で前記第２の固定部材に給送される接合機と第１巻取りと第２巻取り。
【請求項７】
長手方向の印刷面を有する帯状材料を結合する方法であって、
それぞれ先導端部及び後続端部を有する、前記材料の第１巻取り及び第２巻取りを用意するステップと、
所定位置を通り越して前記第１巻取りから材料を取り出すステップと、
前記所定位置にあるときに前記第１巻取りの前記後続部をつかまえるステップと、
第２の所定位置にある前記第２巻取りの前記先導部を見つけるステップと、
前記第１巻取り及び前記第２巻取りからの前記材料の前記印刷面を所定の向きに維持した状態で前記第２巻取りから材料が取り出されるように、前記第１巻取りの前記後続部を前記第２の所定位置に移動させると共に前記第１巻取りの前記後続部を前記第２巻取りの前記先導部に固定するステップと、
を含む、方法。
【請求項８】
添付図面に関して上に述べたことを具体化する接合機。
【請求項９】
添付図面に関して上に述べたことを具体化する帯状材料の結合方法。